

■フィンランド：ポシヴァ社、使用済燃料封入施設の建設を開始

フィンランドの使用済み燃料最終処分の実施主体であるポシヴァ社（TVO社とフォルトゥム社の合弁会社）は2019年6月25日、最終処分場予定地であるオルキルオトで使用済燃料封入施設の建設を開始したと発表した。同国では使用済燃料を直接処分する方針であり、同工場では、使用済燃料を最終処分用のキャニスターに封入する作業が行われる。最終処分場の操業は2023年を予定している。